

岡本富郎先生 略歴



<略年譜>

昭和19年 6月

東京都伊豆大島出身

昭和43年 3月

早稲田大学教育学部教育学科卒業

昭和46年 3月

早稲田大学文学研究科教育学専修修士課程修了
昭和52年 3月

早稲田大学文学研究科教育学専攻博士課程単位取得
昭和48年 4月

白梅学園短期大学赴任

その間、白梅学園短期大学教授、早稲田大学教育学部非常勤講師歴任

平成15年 4月

明星大学人文学部心理・教育学科（教育学専修）教授

平成22年 4月 明星大学教育学部教育学科教授

通学課程と通信教育課程の学部

通学課程の大学院博士前期課程・後期課程担当

その間、教育学専修主任、教職・資格センター長、通信教育課程長、評議員、明星大学出版部取締役を歴任。

<学会および社会的活動>

所属学会

日本教育学会、日本保育学会、クリスチャン教育学会、日本子ども社会学会、日本教育哲学会、野外文化教育学会

活 動

日本私立短期大学協会委員、日本保育士養成協議会理事、クリスチャン教育学会副会長、財団法人私立大学通信教育協会理事などの私学関係の諸団体の運営委員などを歴任

伊豆大島野外体験センター長

地域活動としては、青梅市、昭島市、羽村市、新宿区、立川市、小平市をはじめ多くの自治体の児童福祉審議会、次世代育成関係の協議会、社会教育委員などを歴任。

30有余の幼稚園・保育所・社会福祉施設の理事を歴任

※あまりにも多くの自治体、団体などの役員や委員をされているためすべてを記載するには紙面が足りませんので、概略だけ紹介させていただきました。

<著書>

1. 保育実習（単）昭和47年5月 新教図書
2. 保育活動ハンドブック（共）昭和51年5月 誠文堂新光社
3. 保育者のための読書案内（共）昭和54年11月 全国社会福祉協議会
4. 幼稚園・保育園実習の常識（単）昭和56年3月 蒼丘書林
5. 保育実習の方法と課題（共）昭和57年3月 学苑社
6. 乳幼児保育の原理（共）昭和57年4月 小林出版
7. 教育・保育実習要論（共）昭和57年4月 教育出版
8. 施設実習の常識（共）昭和57年5月 蒼丘書林
9. 現代の人間形成と教育—その理想と生き甲斐の探究（単）昭和57年6月 川島出版
10. 現代の教育を問う（単）昭和57年6月 小林出版
11. 写真で見る保育実習（単）昭和57年9月 相川書房
12. これからの教育原理（共）昭和58年5月 相川書房
13. 教育原理（共）昭和58年5月 福村出版
14. 保育実習・教育実習（共）昭和58年10月 福村出版
15. 子どもの生活（共）昭和59年3月 相川書房
16. 子どもの生活と保育の歴史（共）昭和59年3月 川島出版
17. 保育入門（共）昭和59年4月 小林出版
18. 幼稚園・保育所実習における遊びの指導（共）昭和59年5月 教育出版
19. 幼稚園・保育所実習の指導計画案はこうして立てよう（共）昭和59年5月 萌文書林
20. 幼稚園・保育所実習の自由遊びの指導（共）昭和60年5月 萌文書林
21. 子ども概論（共）昭和61年4月 蒼丘書林
22. 幼稚園・保育所実習の活動の考え方と計画・展開の仕方（共）昭和61年4月 萌文書林
23. 保育とはどんなことか—その営みと反省と展望—（共）昭和63年4月 川島出版
24. 保育研究へのアプローチ1 課題研究・ゼミナールの手引き（共）昭和63年6月 萌文書林
25. 幼稚園・保育所実習のよく出会う問題とその対応（共）昭和63年10月 萌文書林
26. 保育者になるために—保育の基本と学生生活の過ごし方—（共）平成元年4月 萌文書林
27. 新保育原理（共）平成元年4月 萌文書林
28. 施設実習の常識—福祉を实践するための66項目—（共）平成元年4月 蒼丘書林
29. 最新保育用語辞典（共）平成元年4月 ミネルヴァ書房
30. 保育学生のためのお話とその魅力—作品と話し方のポイント—（共）平成元年10月 萌文書林
31. 幼児教育キーワード集（単）平成2年3月 明治図書
32. 幼稚園・保育所での研究の進め方と事例（共）平成4年6月 萌文書林
33. こどもの教育と福祉の辞典（共）平成4年11月 建帛社
34. 教育・保育・福祉ハンドブック（単）平成7年3月 北大路書房
35. 教育と学校を考える（共）平成7年4月 勁草書房
36. 教育・保育実習総論—実習の事前・事後の指導—（共）平成10年10月 萌文書林

37. 声なき叫びが聞こえますか（単）平成12年6月 いのちのことはば社
38. 保育用語辞典（共）平成12年12月 ミネルヴァ書房
39. キリスト教保育ハンドブック（共）平成15年6月 キリスト教保育連盟
40. 保育内容「人間関係」(共) 平成18年4月 同文書院
41. 幼稚園実習（共）平成21年1月 新読書社
42. 幼稚園実習ガイドブック—実習の中で磨かれる技と心—（共）平成21年1月 新読書社
43. 子どものいじめといのちのルール—いのちから子育て・保育・教育を考える（単）平成21年8月 創成社
44. 初等教育課程入門（共）平成22年3月 明星大学出版
45. 現代社会における教育制度と経営（共）平成22年3月 明星大学出版
46. 「保育者のための教育と福祉の事典」(共) 平成24年5月 建帛社
47. 大場幸夫が考えていた保育の原点（共）平成24年5月 創成社
48. 保育の思想を学ぼう—今、子どもの幸せのために—ルソー、ペスタロッチー、オーエン、フレーベルたちの跡を継いで—（単）平成26年10月 萌文書林

<論文>

1. ペスタロッチーの道德教育思想研究のための一研究ノート—「探究」の場合—（単）昭和50年3月 白梅学園短期大学紀要11
2. ペスタロッチーの宗教思想—保育者の人間性を考えるために—（研究ノート）(単) 昭和51年3月 白梅学園短期大学紀要12
3. 空間への自由の尊重として（単）昭和52年7月 医学書院「看護学雑誌」
4. 保育用語解説「いじめ」(単) 昭和55年4月 保育研究1 (2) 相川書房
5. 地域カリキュラムの研究（単）昭和55年5月 第33回大会 日本保育学会誌
6. コメント「私が受けた研修」(単) 昭和55年7月 保育研究1 (2) 相川書房
7. 男性保育者の現状（単）昭和55年10月 保育研究1 (3), -63-69 相川書房
8. ペスタロッチーの幼児教育思想—彼の宗教思想との関連で—（単）昭和56年5月 第34回大会（日本保育学会論文集）
9. 保母養成の教科目の変遷（単）昭和56年5月 （増刊号）(保育研究)
10. チームワークと信頼関係（単）昭和56年10月 保育研究2 (3) 相川書房
11. ペスタロッチーの人間尊厳教育思想と教育「Meine Nachforschungen über den Gang der Natur in der Entwicklung des Menschengeschlechts」を中心に（単）昭和56年10月 日本教育哲学会第35回大会
12. ペスタロッチーの幼児教育思想2（単）昭和57年5月 日本保育学会第35回大会論文集
13. 戦後のカリキュラムの変遷—行事との関連で—（単）平成58年1月 保育研究3 (4) 相川書房
14. 視点「みんながそういうよ」(単) 昭和58年4月 保育研究4 (1) 相川書房
15. ワークブック（単）昭和58年7月 保育研究4 (2) 相川書房
16. 子ども達の「いきいきをめぐって」(単) 昭和58年8月 保育研究4 (3) 相川書房
17. 相性の合わない子ども（単）昭和59年3月 保育研究5 (3) 相川書房
18. 第二次世界大戦とキリスト教保育Ⅰ—「特高資料による戦時下キリスト教運動」にお

- ける「美濃ミッション私立大垣基督教幼稚園迫害事件」について（単）昭和59年3月
白梅学園短期大学紀要20
19. 第二次世界大戦とキリスト教保育Ⅱ―「基督教家庭新聞」に見られる戦時下のキリスト教家庭保育の動向について―1（単）昭和60年3月 白梅学園短期大学紀要21
 20. 戦後の保育内容の変遷―保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針の作成過程を中心に―（単）昭和60年4月 保育研究6（1） 相川書房
 21. 保育構造―その必要性と内容を巡って―（単）昭和60年8月 保育研究6（2） 相川書房
 22. 第二次世界大戦とキリスト教保育Ⅲ―「基督教家庭保育」にみられる戦時下のキリスト教家庭保育の動向について―2（単）昭和61年3月 白梅学園短期大学紀要22
 23. 15年戦争とキリスト教保育Ⅳ―雑誌「基督教保育」(第1号～48号)と「戦争責任について―（単）昭和63年5月 日本保育学会第41回大会論文集
 24. 戦後50年と今後の保育界の課題（単）平成8年3月 保育研究16（4）
 25. 「保育内容に於けるヒューマニズムの歴史的展開―「幼稚園教育要領」(昭和39年版、平成1年版)と「保育所保育指針」(昭和40年版、平成2年版)のヒューマニズムの視点による比較分析―（単）平成12年11月 白梅学園短期大学教育・福祉研究センター「研究年報」5
 26. 生命教育学試論（単）平成13年11月 白梅学園短期大学教育・福祉研究センター「研究年報」6
 27. 生と死の教育の必要性Ⅰ（単）平成16年3月 明星大学教育学研究紀要19 明星大学
 28. 「保育者の資質と発達」に対する保育系学生の意識（共）平成18年3月 明星大学教育学研究紀要21 明星大学
 29. 生と死の教育の必要性Ⅱ（単）平成18年3月 明星大学教育学研究紀要21 明星大学
 30. 教師の悩みの実態とその要因（共）平成19年3月 明星大学研究紀要―人文学部―43 明星大学
 31. 生と死の教育の必要性Ⅲ（単）平成19年3月 明星大学教育学研究紀要22 明星大学
 32. 教師の「教師生活」に対する不安と悩み―教職年数別と年代別との比較を基軸として―（共）平成21年3月 明星大学教育学研究紀要24 明星大学
 33. 「生と死の教育の必要性」Ⅳ―キリスト教の死生観、特にキリスト教の死後生の考え方との関連で―（単）平成22年3月 明星大学教育学研究紀要25 明星大学教育学研究室

<その他>

1. ペスタロッチーの道徳教育思想研究のための基礎づけ「人類の発展に於ける自然の歩みについての私の探究」の場合（単）昭和46年12月 早稲田大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程論文
2. ペスタロッチーの人間尊厳思想と教育―探求を中心に―（単）昭和46年 第14回日本教育哲学会
3. 教育に於ける個人と社会（単）昭和47年8月 財団法人青少年問題研究会「青少年問題」19（8）
4. 子どもの家庭生活―山形県金山町実態調査報告―幼児教育に於ける地域カリキュラムの研究―（単）昭和55年4月 白梅学園短期大学児童研究室

5. 草の根のおびえ—昭和初期の保育—（単）昭和60年6月 「月刊芽」8月号
6. 一幼稚園における過去11年間の4,5歳児の曜日別欠席状況の推移（共）昭和61年8月
日本教育学会第45回大会
7. 保育者養成の現状と課題（単）昭和62年11月 早稲田大学教育学会第1回大会
8. ヒューマニズムと愛（単）昭和62年12月 誠文堂新光社「月刊芽」1月号
9. 保育科系短大新入生の意識調査（単）平成3年12月 日本私立短期大学協会
10. 「実習」及び「実習を伴う教科目（小児保健、小児栄養）に関する実態調査」(単) 平成
7年9月 日本私立短期大学協会1-40
11. 授業の中でじっさいに様々な所や保育現場に行って体験的に学習する時間を持つ教科
に関する実態調査（単）平成7年9月 日本私立短期大学協会41-96
12. 女性キリスト者と戦争（単）平成15年4月 クリスマン新聞2003年3月16日号

岡本富郎先生のご退職に寄せて

～感謝の言葉を添えて～

松 川 秀 夫

昭和19年、東京都は伊豆大島にお生まれになり、早稲田大学教育学部教育学科を卒業された後、教育思想史の研究の道に進まれて、早稲田大学大学院博士課程を修了されました。最初のお仕事は、白梅学園短期大学保育科での保育者養成です。その後同短期大学教授をされるかたわら、早稲田大学教育学部・人間科学部非常勤講師を経て、平成15年に保育士養成課程の教員として、明星大学人文学部心理・教育学科教育学専修教授に就任されました。その間、新設になりました教育学部の教授としてまた専修主任、教職資格センター長、通信教育課程長、評議員を歴任され、人文学研究科博士前期課程、後期課程、通信教育の博士後期課程をご担当されました。

白梅学園にご赴任されて以来、幼児教育学、教育学をご専門にされていらっしゃると思いますが、その中身は、教育思想史から教職研究、保育者養成としての幼児教育学、保育学ときわめて広領域にわたり、深い学究心から研究と学生教育にと多大な業績を残されております。

浅学な私では、カバーしきれないほど広い研究領域にまたがり深い学識をお持ちでありながら、きわめて簡潔にして簡易な言葉づかいに加え、ユーモアを交えられたお話をされます。そのため、先生からご薫陶を受けた者は、どのような難解な中身でも、理解を深めることができます。

先生の深い学識に裏打ちされた保育者養成の確立に燃えるような熱意と冷静な戦略、何事にも枉げない筋の通った主張をされてきました。そのため、保育者養成が、小学校教員養成・中学・高等学校教員養成に肩を並べるところまで認知されるようになったものと確信しております。そう確信できるのも、保育者の養成に、学会も国も国民も、まったくと言ってよい程、目を向けることのない時代から、志を同じくする方々と共に、先生の尽力された賜物と敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

また社会的には、「命と平和」を大事に思うことから、さまざまな運動に関わり、時には先頭に立ってリードされています。他方行政に幼稚園・保育所をはじめ社会福祉施設の応援として、関係団体・自治体の役員・委員を多数歴任され、多くの提言をされると同時に身を粉にして働くことを通じて貢献されています。

このように教育と学問を通じて、学生に対し、保育界に対し、社会に対し、日本国民に対し、世界に対し、言葉では言い尽くせない多大な貢献をされたものと思います。

最後に、伊豆大島野外体験センター長としての今後のご活躍とともに、一層のご健康とご多幸とお祈り申し上げます。ありがとうございました。